写真帳　　地区名：　○○○

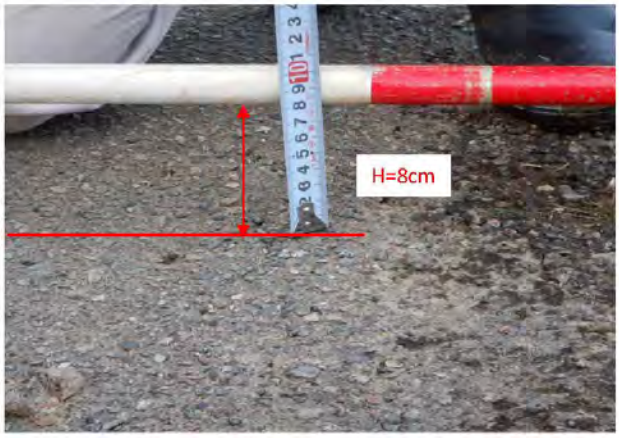
実施年月日　令和○年○月○日

No.38

実施年月日　令和○年○月○日

No.38　遠景

MH浮上　H=8cm



実施年月日　令和○年○月○日

No.38　近景

MH浮上　H=8cm

写真帳

地区名：　○○○

実施年月日　令和○年○月○日

No.38→No.39

バキュームにより滞留除去

実施年月日　令和○年○月○日

No.38→No.39

たるみ（上方向）　滞留あり

VU200の管で下流側からのライトが見えない　たるみ20cm

管口から離れるほど滞水位が低くなっていることから、上方向のたるみと判断した。

８－５．汚水処理施設調査等用具一覧

表－８－５－１　緊急点検・緊急調査用具一覧

＊　注１）集落排水施設台帳がない場合は、それに代わる資料でもよい。

用途		書類及び機材
調査・点検	書類	□緊急点検・緊急調査チェックリスト（表－８－５－１） □施設台帳（表－８－７－２）＊注１）　□施設平面図（出来高図）　□野帳
	機材	□コンベックス　□懐中電灯（電池）　□巻尺　□スタッフ　□マンホール蓋開閉器＊注２） □マイナスドライバー　□ハンマー　□スコップ　□カラースプレー　□バール
記録		□筆記具　□デジタルカメラ＊注３）（電池・充電器、メモリー）　□写真判定用メジャー □黒板（ホワイトボード）
通信		□ラジオ（電池）　□携帯電話（電池・車載用充電器等）　□無線機（電池） □緊急連絡表（表－８－７－１）
通行規制		□セーフティコーン（反射テープ付）　□ロープ　□バリケード　□誘導灯
安全		□ガス検知器（電池）　□送風機　□ヘルメット　□安全靴　□安全帯　□命綱 □安全チョッキ　□軍手等　□健康保健証のコピー
その他		□投光器　□発電機（燃料）　□ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝ、ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末（データ整理用）　□USB ﾒﾓﾘｰ □アスファルト合材（道路補修用）　□パテ・ビニルテープ（止水・補修用）

＊　注２）マンホール蓋開閉器はメーカーにより異なる。また、どのマンホールがどの蓋開閉器を使用するか、事前に資料をまとめておく必要がある。

＊　注３）緊急を要するためデジタルカメラを使用することが望ましい。（現像時間の短縮、情報の公開・交換等に有効である。）

表－８－５－２　一次調査・二次調査用具一覧

用途		書類及び機材
調査	書類	□一次調査・二次調査チェックリスト（表－８－５－２） □施設台帳（表－８－７－２）＊注１）　□施設平面図（出来高図）　□野帳
	機材	□コンベックス　□懐中電灯（電池）　□巻尺　□スタッフ　□マンホール蓋開閉器 □マイナスドライバー　□ハンマー　□スコップ　□カラースプレー　□バール □測量機器　□ポール　□ピンポール　□ロッド　□リボンロッド　□検電器 □絶縁抵抗計　□絶縁手袋（ゴム手袋）　□はしご・脚立
記録		□筆記具　□デジタルカメラ（電池・充電器、メモリー）　□写真判定用メジャー □黒板（ホワイトボード）
通信		□ラジオ（電池）　□携帯電話（電池・車載用充電器等）　□無線機（電池） □緊急連絡表（表－８－７－１）
通行規制		□セーフティコーン（反射テープ付）　□ロープ　□バリケード　□誘導灯
安全		□ガス検知器（電池）　□送風機　□ヘルメット　□安全靴　□安全帯　□命綱 □安全チョッキ　□軍手等　□健康保健証のコピー
その他		□投光器　□発電機（燃料）　□ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝ、ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末（データ整理用）　□USB ﾒﾓﾘｰ

＊　注１）設置機器の仕様寸法、メーカー等が分かる資料があるとよい。

＊　注２）二次調査は特定箇所の詳細調査となるため、準備する用具等については調査責任者の指示によるものとする。

8－6.汚水処理施設のチェックリスト

都道府県		被災自治体		地区名		処理区名		施設規模		㎥/日	調査日時		天　候	
型　式						作業時間	～	調査主体			担当者			

	点検箇所	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	写真No
外観	外構（周回路、駐車場）	周回路				出入口								
	外構（周回路、駐車場）	駐車場												
	門扉、ﾌｪﾝｽ	門扉				フェンス								
	建屋	上屋等施設												
	水槽	天板、埋戻し土、盛土												
安全	外構、門扉、ﾌｪﾝｽ	ｶﾞｽ中毒等												
	建屋	ｶﾞｽ中毒等												
	水槽	ｶﾞｽ中毒（異臭等）												
処理機能	電気・水道	電気				水道								
	接続配管	流入配管				放流配管								
	水量（目視）	流入汚水量				放流水量								
	水質（目視）	流入水質				放流水質								
	重要設備・機器類	ブロワ				ｴｱｰ配管								
	重要設備・機器類	消毒設備												
	管理室	制御盤												
	換気設備	局所換気												

	点検箇所	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	写真No
処理施設	躯体（水槽）													
	機械類													
	設備													

汚水受入判定	主な被害		対　策		備　考

チェックリスト記入要領

本チェックリストは、被災した処理施設が
① 汚水の受入れが可能で、
② 処理機能を有し、
③ 処理水を放流できる、
状況にあるかどうかを判定するとともに、正常な処理状態を取り戻すために必要な対策を把握する現地調査で用いる記録用紙（チェックリスト）である。

1）調査する処理施設では、まず表中の赤文字の項目「外観」、「安全」、「処理機能」の各項目を調査し、「被害対象」、「被害内容」を記入し、「判定」して下さい。
「外観」、「安全」、「処理機能」は、処理施設が現状で処理できるかどうかを判断するための項目です。現地調査で必ず確認し、判定して下さい。（赤枠は、必須項目です。）
判断に必要と思われる項目が他にもある場合は、「点検箇所」に直接入力して下さい。
2）「処理施設」では「躯体（水槽）」、「機械類」、「設備」の各「点検箇所」で、被害があった「被害対象」について「被害内容」を記入し「判定」して下さい。
被害がない場合は、リストに掲載する必要はありません。ただし、確認した点検内容を明記する等、必要に応じて項目を選択して判定を"無被害"として下さい。
3）「追記事項」と「備考」は、自由入力欄です。文字を直接入力して下さい。
4）写真を添付する場合は、関連する行の「写真No.」に番号を記入して下さい。添付写真は、別《シート》写真に添付します。
5）現地調査の結果から、被災処理施設の状況について、①～③に関する総合的な判定を「汚水受入判定」で行って下さい。
6）「主な被害状況」と「対策」は、自由入力欄です。なお、着色セルは、「汚水受入判定」の選択内容で自動的に入力されます。
7）チェックリストは、原則1枚（1頁）にまとめる様式にしています。

ポイント

○デフォルトのチェック項目（赤文字の項目）は、必ず調査し判定して下さい。
○「点検箇所」、「被害対象」、「被害内容」、「判定」は、プルダウンで選択して下さい。
○フルダウンで選択できる項目は、《シート》選択リスト一覧で確認できます。現地調査時に予め印刷し手持ち資料にする等で活用して下さい。
○全てのセルが入力可能になっています。選択リストにない項目がある場合は、適切な文字を直接入力して下さい。
○「判定」は、《シート》選択リスト一覧の【被害判定】を参考に判定して下さい。なお、【大】、【中】、無被害、不明を選択すると、セル色が自動的に変化します。
○被害状況の確認が困難等で再調査が必要と思われる項目は、判定を"不明"として下さい。
○「汚水受入判定」は、《シート》選択リスト一覧の【汚水受入判定】を参考に判定して下さい。

汚水処理施設の被害写真

写真１　施設全景

選択項目リスト

【調査情報】　例）晴れ　（一社）地域環境資源センター

天候	調査主体
晴れ	（一社）地域環境資源センター
曇り	
雨	
雪	
晴れ時々曇り	
晴れ時々雨	
曇り時々晴	
曇り時々雨	

【型　式】　例）JARUS-XIV　R型　2系列

処理方式	仕様	系列
JARUS-S	型	1
JARUS-Ⅰ	96型	2
JARUS-Ⅱ	S型	3
JARUS-Ⅲ	P型	4
JARUS-Ⅳ	P1型	5
JARUS-Ⅴ	G型	6
JARUS-XⅠ	GP型	
JARUS-XⅡ	R型	
JARUS-XⅣ	H型	
JARUS-XⅤ	高度リン除去	
JARUS仕様-OD	6型	
JARUS型膜分離活性汚泥方式	（FRP）	
JARUS-F_M		
連続流入間欠ばっ気方式		
回分式活性汚泥方式		
OD方式		
接触ばっ気方式		
担体流動方式		
土壌被覆型接触ばっ気方式		
回転盤接触方式		

【被害判定（外観）】

程度（%）	判定	対策	記号
50～	全壊	修復	【大】
30～50	大規模半壊	修復、修理	【中】
20～30	半壊	修理、補修	〖小〗
～20	一部損壊	部分補修、現状維持	微
0	無被害、正常	現状維持	無被害
不明	判定不能	再調査	不明
対象なし	なし	なし	－

【被害判定（安全確認、処理機能、処理施設）】

状況（程度（%））	判定	対策	記号
破壊・転倒・落下（50～）	全損	交換	【大】
破損・配線破損（30～50）	機能停止	交換、修理	【中】
変形・異音・発熱・振動（20～30）	動作不良	修理、補修	〖小〗
警報・異常表示（～20）	異常有り	補修、点検、運転調整	微
無傷（0）	正常	点検、継続使用	無被害
不明	判定不能	再調査	不明
対象なし	なし	なし	－

【汚水受入判定】

記号	判定	状況	対策
○	処理が可能な施設	接続管、EV配管等主な機能が正常	点検、継続使用
△	応急処置で処理可能な施設	接続管、EV配管等に破損あり	応急処置、点検
×	処理が困難な施設	躯体、機械類、設備の破損大	修復、修理、補修

【点検箇所】

外観	安全確認	処理機能	処理施設
外構（周回路、駐車場）	外構、門扉、ﾌｪﾝｽ	電気・水道	躯体（水槽）
門扉、ﾌｪﾝｽ	建屋	接続配管	機械類
建屋	水槽	水量（目視）	設備
水槽		水質（目視）	
		重要設備・機器類	
		管理室	
		換気設備	

【被害対象】

外観	安全確認	処理機能	躯体（水槽）	機械類	設備
周回路	ｶﾞｽ中毒（異臭等）	流入配管	全体	自動荒目ｽｸﾘｰﾝ	受変電設備、動力設備
出入口	階段	放流配管	流入水路	細目ｽｸﾘｰﾝ	配管設備（配管、弁類）
施設周辺	開口部	流入汚水量	ばっ気沈砂槽	自動微細目ｽｸﾘｰﾝ	照明器具
駐車場	天板、埋戻し土、盛土	放流水量	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ槽	ｽｸﾘｰﾝﾕﾆｯﾄ	
雨水配管、升	電線・配線	流入水質	流量調整槽	ばっ気型ｽｸﾘｰﾝ	
門扉	機器類	放流水質	沈殿分離槽	破砕機	
フェンス	燃料・薬品			計量槽（汚水、返送）	
擁壁		ブロワ	嫌気性ろ床槽		
天板、埋戻し土、盛土		ｴｱｰ配管	接触ばっ気槽	ﾎﾟﾝﾌﾟ類（水中、汚泥）	
		消毒設備	最初沈殿槽	ｴｱﾘﾌﾄﾎﾟﾝﾌﾟ	
上屋等施設		制御盤	ばっ気槽	汚泥返送ﾎﾟﾝﾌﾟ	
壁		電気	OD槽	汚泥引抜ﾎﾟﾝﾌﾟ	
屋根		水道	沈殿槽	非常用ｴﾝｼﾞﾝﾎﾟﾝﾌﾟ	
窓		局所換気	回分槽		
扉		照明設備	脱窒槽	接触材	
天井、天板			硝化槽	散気装置	
階段				微細気泡散気装置	
電柱、電灯			後ばっ気槽		
FRP（水槽）			散水ﾎﾟﾝﾌﾟ槽	水中撹拌装置	
			消毒槽	ばっ気撹拌装置	
			放流ﾎﾟﾝﾌﾟ槽	上澄水排出装置	
			処理水槽	汚泥掻寄機	
			急速撹拌槽	越流堰	
			緩速撹拌槽	ｾﾝﾀｰｳｪﾙ	
			ろ過ﾎﾟﾝﾌﾟ槽	ｽｶﾑｽｷﾏｰ	
			逆洗ﾎﾟﾝﾌﾟ槽		
				消毒器	
			汚泥濃縮貯留槽	鉄溶液注入装置	
			汚泥濃縮槽	３次処理機器	
			汚泥貯留槽	計測機器類（電磁流量計、水位計含む）	
			汚泥受槽		
			FRP（水槽）		

【被害内容】

外観	安全確認	処理機能	躯体（水槽）	機械類、設備
亀裂	硫化水素臭	断裂	ｸﾗｯｸ（ひび割れ）	機能停止
陥没	汚水臭	破損・漏洩	剥落	断線
亀裂・陥没	腐敗臭	断裂・漏洩・陥没	剥離	破損
人孔隆起	段差	変形	沈下	傾斜
盛土崩壊	覆蓋落下	損傷	たわみ	転倒
隆起	足場不安定	閉塞	防食被覆損傷	脱落
液状化	感電	流れなし	落下（覆蓋、配線等）	落下
破損	容器破損	流れ少量	異常水位	変形
変形・歪み	燃料漏洩	雨水様（SSなし）	傾斜（FRP）	液漏れ
ｸﾗｯｸ（ひび割れ）	薬品漏洩	汚泥混入	変形（FRP）	ひび割れ
剥落		土砂混入	亀裂（FRP）	異音
沈下		故障	露出（FRP）	発熱・異臭
倒壊		異音・振動・発熱	担体（ろ材）流出	振動
転倒		破損	土砂侵入	警報・異常表示
傾斜		停電		
落下		断水		
		転倒		

8－7．汚水処理施設のチェックリスト（記入例）

都道府県	石川県	被災自治体	七尾市	地区名	二穴	処理区名	二穴	施設規模	110人	29.7 ㎥/日	調査日時	2024年1月18日	天　候	雨
型　式	JARUS-Ⅰ 96型				1系列	作業時間	11:50 ～ 12:55	調査主体	（　社）地域環境資源センター		担当者	柴田　浩彦		

	点検箇所	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	写真No
外観	外構（周回路、駐車場）	周回路	亀裂	【中】	10数cm程度	出入口	亀裂	【中】	10数cm程度	施設周辺	陥没	【中】	数十cm程度	1～5
	外構（周回路、駐車場）	駐車場												
	門扉、フェンス	門扉		無被害		フェンス		無被害						
	建屋	上屋等施設		無被害		電柱、電灯	傾斜	微	電柱（引込線）					
	[illegible]	大板、埋戻し土、盛土	盛土崩壊	【大】										
安全	外構、門扉、フェンス	ガス中毒等		無被害										
	建屋	ガス中毒等		無被害		階段	段差	【中】	27cm程度					6～7
	水槽	ガス中毒（気臭等）		無被害										
処理機能	電気・水道	電気		不明		水道	断水	不明						
	[illegible]	流入配管	断裂・漏洩・陥没	【大】		放流配管	断裂・漏洩・陥没	【大】						8～9
	[illegible]	流入汚水量	流れなし	【大】		放流水量	流れなし	【大】						8～9
	水質（目視）	流入水質		不明		放流水質		不明						
	重要設備・機器類	ブロワ		不明		ｴｱｰ配管		不明						
	重要設備・機器類	消毒設備		不明										
	管理室	制御盤		不明										
	換気設備	局所換気		－										

	点検箇所	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	被害対象	被害内容	判　定	追記事項	写真No
処理施設	[illegible]	FRP（水槽）	露出（FRP）	【大】										10～18
	機械類													
	[illegible]	配管設備（配管、弁類）	脱落	【大】										10～18

汚水受入判定	主な被害	処理が困難な施設	対　策	修復、修理、補修	備　考
×	躯体、機械類、設備の破損大		処理水槽部全体補修		水槽（FRP）の周辺が陥没・盛土崩壊し水槽と配管類が剥き出しになっているが、各水槽の天端はおおむね水平を維持している。

汚水処理施設の被害写真

写真１　施設全景

写真２

写真３

写真４

写真５

写真６

写真７

写真８

８－８．参考表

表－８－８－１　緊急連絡表（例）

	関係社名	担当部署、氏名	電話番号・携帯電話番号・FAX 番号
緊急連絡	県庁	○○部○○課○○係 ○○　○○	TEL：事務所、担当携帯 FAX：事務所
	浄化槽管理者（市町村等）	〃	〃
	維持管理業者	〃	〃
	地元管理組合	〃	〃
	道路管理者	〃	〃
	河川管理者	〃	〃
	水道管理者	〃	〃
	ガス管理者	〃	〃
	電力会社	〃	〃
	電話会社	〃	〃
	機器メーカー	（表－８－８－２　農業集落排水施設台帳（例）参照）	
事故発生	病院		
	警察署		
	消防署		
	労働基準監督署		

注）夜間、休日等にも対応できる緊急連絡先も記載する。

表－８－８－２　農業集落排水施設台帳（例）

○○地区処理施設

No.	設備	室名称	機器名称	型式	規格	数量	機器製造メーカー	住所	電話番号	設置年月	請負工事業者
73	機械	回分槽	散水ノズル (コック付き)	CN-15	15A 10L/min	11 基	○○㈱	○○県○○市○○		H17.03	
74	機械	処理室	ステンレス交換	SUS304TP	Sch40S 32A	1 式	○○鋼管㈱	○○県○○市○○		H17.03	
75	機械	回分槽	回分槽余剰汚泥引抜ポンプ	TOS50U4,75L-51	φ50×0.75kw	1 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
76	機械	ブロワ室	汚泥貯留槽ブロワ	RSR-65	φ65×3.7kw	3 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
77	機械	回分槽	ばっ気撹拌装置 (水中エアレーター)	TOB100TAR45.5-53	5.5kw	1 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
78	機械	前処理室	汚水計量槽 SUS304		W500 ㎜×L1,750 ㎜×H600 ㎜	1 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
79	機械	前処理室	微細目スクリーン点検歩廊		W700 ㎜×L2,000 ㎜×H660 ㎜	1 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
80	機械	前処理室	微細目スクリーン槽 (脱水機スペース有り)	CS-08NW 型-R	W700 ㎜×L2,000 ㎜×H1,350 ㎜	1 基	○○㈱	○○県○○市○○		H17.03	
81	機械	前処理室	し渣脱水機 (二軸スクリュー式)	CP-60 型	60l/hr 0.1kw	1 基	○○㈱	○○県○○市○○		H17.03	
82	機械	前処理室	自動微細目スクリーン (自動掻き上げ)	NS-800S 型	2 ㎜目幅 45m^3/hr 0.025kw	2 基	○○㈱	○○県○○市○○		H17.03	
83	機械	流量調整槽	流量調整槽水中撹拌機	MRL3041EC-51	1.5kw	1 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
84	機械	流量調整槽	流量調整ポンプ	TOS80U42.2-54	φ80×2.2kw	2 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	
85	機械	ばっ気沈砂槽	沈砂排出ポンプ (エアリフト)		80A(吸込) 100A(吐出)	1 基	㈱○○鐵工所	○○県○○市○○		H17.03	
86	機械	前処理室	流入部角落し		W530 ㎜×H100 ㎜×3 枚	1 式	㈱○○鐵工所	○○県○○市○○		H17.03	
87	機械	前処理室	流入部角落し		W340 ㎜×H500 ㎜×3 枚	2 式	㈱○○鐵工所	○○県○○市○○		H17.03	
88	機械	前処理室	細目スクリーン (手掻き式バースクリーン)		W484 ㎜×L958 ㎜×H830 ㎜	1 基	㈱○○鐵工所	○○県○○市○○		H17.03	
89	機械	前処理室	破砕機 (回転ドラム式･コントロール式)	7R 冠水型	220～1,440 m^3/日	1 基	○○㈱	○○県○○市○○		H17.03	
90	機械	散水ポンプ槽	散水ポンプ	TOS50SF21.5-52	φ50×1.5kw	1 基	㈱○○製作所	○○県○○市○○		H17.03	

表－８－８－３　記録写真の撮影（例）

<table>
<tr><td colspan="2">路面変状等が見られる場合の写真</td></tr>
<tr><td>陥没路線の確認（全景）</td><td>路面陥没（沈下量）の確認</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>マンホール浮上量の確認</td><td>調査記録の記入（例）</td></tr>
<tr><td> </td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">マンホール異常等が見られる場合の写真</td></tr>
<tr><td>マンホール側壁部クラックの確認</td><td>調整リング部ずれの確認</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td colspan="2">流水障害等が見られる場合の写真</td></tr>
<tr><td>マンホール内滞水深の調査状況</td><td>マンホール内滞水深の確認</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
</table>

＊　注）記録写真の撮影に当たっては、黒板（ホワイトボード）等を使用し、データ整理時において被災箇所や被災状況等が確認できるようにする必要がある。

参考資料－９

都道府県土地改良事業団体連合会等で貸与可能な調査機材一覧（令和6年10月現在）

機材 / 連合会	1 マンホール蓋開閉バール						2	3	4	5	備考
	①T	②フック	③C	④複合1（Tとフック）	⑤複合2（TとC）	⑥複合3（フックとC）	点検用ミラー	点検用ライト	点検用ミラー・ライト兼用器具	管口カメラ	
北海道							1	2		2	管口カメラは不具合あり
青森	2	2		2			2	2			
岩手		1		3			3	1			
宮城	2			2			2	1			
秋田	1	1					1	1			
山形	2	1							2		
福島	2	1			2		10	2			
茨城	2			2			2				
栃木	3	6					2				
群馬	1	1			1		2	2			
埼玉	3	3					2			2	
千葉	7	10		2			1			2	管口カメラは外部電源が必要
新潟	1	2		1	2		1	1			
富山		1					1	1			
石川	5			1			3	3		3	管口カメラ2台は若干不具合あり
福井					1						
山梨	2	1									
長野		1	1	1			2	1			
岐阜	1						1				
愛知				1			3	1			
三重	1						1	1			
滋賀	2						4	2			
兵庫				2			2	2			
鳥取	1	1			1		2	3		1	管口カメラの記録媒体が動画のみ
島根		1					1	1			
岡山	3	2			1						
広島	2	3					1	1			
山口	2			1							
徳島	3						1	1			
香川	6			1			2	2		2	管口カメラ1台は若干不具合あり
愛媛		1			1		1				
高知	1	2		1		1	1	1			
福岡	1										
佐賀	5	1					1	1		1	
長崎				1	4	1					
熊本				2	2		2	1			
大分	1						2	2			
宮崎	2	2			2		2	2		1	点検用ライト1台は接触不良でちらつきあり
鹿児島	1				2		1	1		1	
沖縄		2					2	2			点検用ライトは自作
JARUS	5							6	5		ライト腐食アリ
計	70	46	1	23	19	2	65	47	7	15	

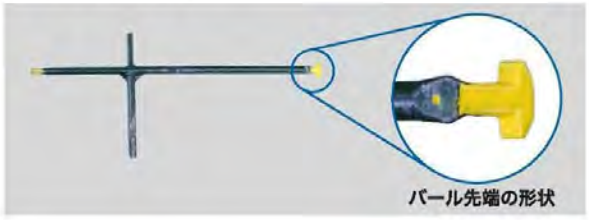
※ 実際に貸与が可能かどうかは、その時々の状況によって変わってくることに注意

貸与可能な機材を有する連合会のみ掲載

マンホール開閉バールのサンプル写真を次ページに掲載

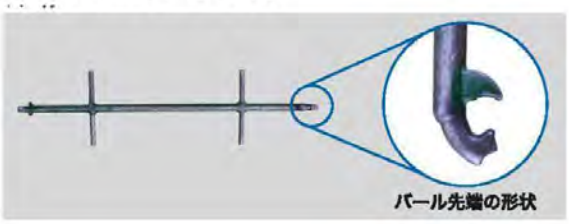
（マンホール蓋開閉バールの各タイプ事例）

①アルファベットT

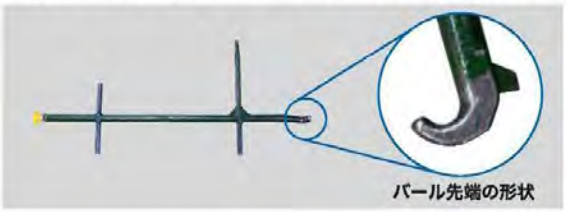


②フック

③アルファベット C タイプ



④複合１（「①アルファベット T」と「②フック」の両方が付属）

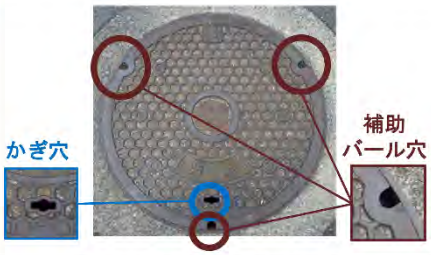
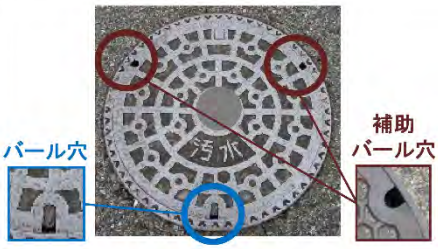
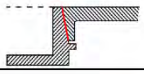
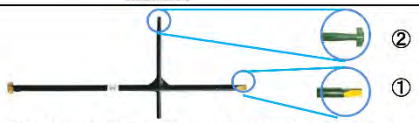
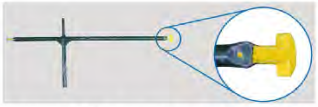


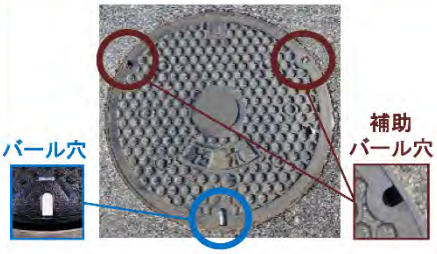
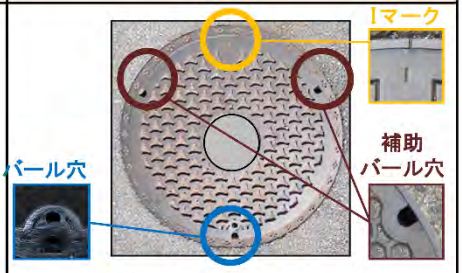
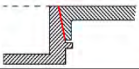
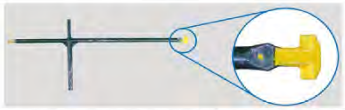
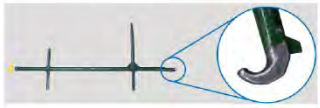
⑤複合２（「①アルファベットT」と「③アルファベットC」の両方が付属）

参考資料－１０　マンホール蓋タイプ別開閉ガイド作成要領

【付記１】
表８－１－２※注１）「マンホール蓋開閉器はメーカーにより異なる。また、どのマンホールがどの開閉機器を使用するか、事前にまとめておく」の具体的とりまとめイメージ、整理方法を示す。

●●市　マンホール蓋タイプ別　簡単開閉ガイド　　作成イメージ

タイプ名	Ｂ－１	Ｂ－２
蓋表		
備考	※鍵・浮上飛散防止機能なし	※鍵・浮上飛散防止機能なし
地区名	●●地区	▲▲地区
支持構造	急勾配受け 	急勾配受け 
開閉器		
開閉方法	1.補助バール穴に開閉キー先端①を入れ、下方向に動かし、食い込みを解除する。 2.かぎ穴に開閉器先端②を入れ90度回転させ蓋を引き出す。	1.バール穴に開閉キー先端を入れ開閉器先端の黄色面が蓋の中心を 向くように90度回転させる。 2.開閉器が止まるまで 蓋の中心に向けて倒して開閉器先端を枠に引き寄せた後、開閉器を手前に倒し食い込みを解除し、蓋を引き出す。

タイプ名	Ｃ－１	Ｃ－２
蓋表		
備考	※鍵・浮上飛散防止機能あり	※鍵・浮上飛散防止機能あり
地区名	■■地区	★★地区
支持構造	急勾配受け 	急勾配受け 
開閉器		
開閉方法	1.バール穴に開閉器先端を入れ開閉器先端の黄色面が蓋の中心を 向くように90度回転させる。 2.開閉器が止まるまで 蓋の中心に向けて倒して開閉器先端を枠に引き寄せた後、開閉器を手前に倒し食い込みを解除し、蓋を引き出す。 ※蓋の食込みを解除することで鍵も解除される。	1.開閉器を蓋の中心に向けてバール穴に差し込み、開閉器を手前に倒して蓋の食い込みを解除する。 2.Iマークの位置が合っていることを確認し、蓋を浮かしぎみにしてIマークが30mm程度ズレるまで右に回し鍵を解除し、蓋を引き出す。

注１）バール穴での食込み解除が困難な場合は、補助バール穴に「B-1タイプ」の開閉器先端①を入れて下方向に動かすことや、同時に動かすことで食い込みを解除し易くなる。

注２）マンホール蓋開閉の際に、タイプによってはバール穴（鍵穴）に詰めてあるゴムが劣化して取り除くことが困難となり迅速な開閉の障害となる事例がある。劣化したゴムを取り除いておくと緊急時に迅速なマンホール蓋の開閉が可能となる。